

国家資格

高圧ガス製造保安責任者試験

甲種化学・甲種機械・乙種化学・乙種機械・
丙種化学(特別試験科目)・丙種化学(液化石油ガス)

高圧ガスは、エネルギーや原材料として、
製鋼、化学、自動車、半導体など日本の産業の
根幹を支える重要な役割を担うとともに、
私達の暮らしの中でも医療用の酸素から
家庭用のLPGガスに至るまで、
日常生活に必要不可欠な存在となっています。
「高圧ガス製造保安責任者」は
そのような高圧ガスの製造に関係する
プラントのオペレーターやエンジニアとして
幅広く活躍することができる魅力的な資格です。

試験日

11月9日(日)

受験案内書のWEB公開・配布

7月7日(月)から

受験願書受付期間

インターネット受付

8月18日(月)午前10時～
9月3日(水)午後5時まで

書面受付

8月18日(月)～9月1日(月)
(当日消印有効)

受験資格 年齢、学歴、経験に関係なく誰でも受験できます。

受験料

インターネット受付

書面受付

甲種化学、甲種機械	17,300円	17,800円
乙種化学、乙種機械	11,100円	11,600円
丙種化学(特別試験科目)、 丙種化学(液化石油ガス)	9,800円	10,300円

受験案内書等は
こちらから

高圧ガス保安協会ホームページ <https://www.khk.or.jp/>

高圧ガス保安協会 または KHK

検索





高圧ガス製造保安責任者試験とは？

この試験は、高圧ガス保安法の国家資格を取得するための資格試験です。幻想的な工場夜景として近年注目を集める石油化学コンビナート事業所や、産業用・医療用の高圧ガス製造事業所などにおいて最も必要とされている資格です。

多くの資格取得者は、プラントのオペレーターやエンジニアとして従事していますが、一定の実務経験を積むことで、保安主任者や保安係員といった保安管理に関する法定責任者として活躍することもできます。



キャリアアップのためには？

高圧ガス製造保安責任者試験は、甲種を最上位として、甲種＞乙種＞丙種の順に階層的な区分で構成されています。資格を取得し、上位資格にステップアップすることで、確実に活躍の場が広がり、昇進や昇給の可能性が高くなります。

また、高圧ガス保安法上、上位資格は法定責任者に選任する際に必要とされる要件の一つとなっているため、転職の際にも非常に有利に働きます。

化学と機械の違いは？

化学は、高圧ガスそのものの生成・性質、化学反応の挙動を把握し、異常時の連鎖反応を予測・防止するなど、高圧ガスの製造に際し、化学的側面から安全管理を担うための重要な資格です。

機械は、高圧ガスを取り扱う設備の構造・材料や設備から予測される疲労や損傷の評価など、工学的知識をもとに設備の設計・点検・保守を担うための重要な資格です。

丙種化学（特別試験科目）と丙種化学（液化石油ガス）の違いは？

丙種化学は甲種や乙種の資格取得に向けた入り口ともいえる資格です。

丙種化学（特別試験科目）は、石油化学コンビナートや酸素、窒素、アルゴンなどの製造所等の保安に関連する資格です。丙種化学（液化石油ガス）は、国内で約4割の家庭に供給されているLPガスの製造所の保安に特化した資格です。

資格を 取得した方の 声

昔から石油化学コンビナートのスケール感に興味があったことから、卒業後の進路としては、学校で学んだ化学工学の知識を活かせるように、巨大プラント設備のオペレーターや装置の設計に関わることができるプラントエンジニアを目指して就活を進めていました。

乙種機械の資格は、就職先を決める上で役立つ資格であると思い、受験することにしました。

（Aさん）



昔資格を取得したことで、現在、職場では職長に昇進し、高圧ガス保安法に定める保安係員に選任されています。

法定責任者として周りからは期待されているので緊張感は絶えませんが、日々、充実感でいっぱいです。将来に向けては、甲種機械の資格を取得し、プラントエンジニアとしてキャリアアップを目指していきたいと思っています。

（Bさん）



特別民間法人

高圧ガス保安協会
The High Pressure Gas Safety Institute of Japan

試験・教育事業部門

〒105-8447 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル
TEL：03-3436-6102 mail：edu@khk.or.jp